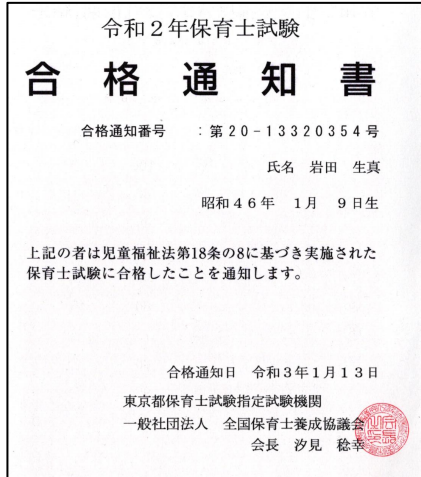


小学校放課後子ども教室

平成29年度から始めた「**小学校放課後子ども教室**」も、**令和2年度で4年目**となりました。
この間、地域の方々や現・元PTAの方々等のご協力を得て、校庭での自由遊びや体育館でのバレーボール教室、視聴覚室等での各種プログラムを実施してきました。しかし、令和2年度は新型コロナウイルス感染症流行の影響を受け、校庭と(状況に応じて)体育館のみでの実施となりました。

校庭等での見守りやバレーボール等の指導を通した日々の子供達の様子から、**今の子供達が持つ強みや課題、そして、居場所の大切さや多世代交流の意義**を実感しています。

そうした中、子供達がより安全に、充実した活動が出来るよう、保育士の資格も取得しました。
令和3年度の活動も、引き続きコロナ禍の状況に左右されると思います。そうした中でも、地域の大人として少しでも子供達にとって意義ある活動となるよう努め、あわせて「**学校施設のさらなる有効活用**」に向けた知見を深めていきたいと思っています。



ゲストティーチャー

3月13日(土)、小学校で行われた「“先輩に学ぼう” キャリア教育」の授業(6年生対象)に、5人の**ゲストティーチャーの1人として参加**しました。
当日は、約20分間(×3回)で、「区議会議員」という仕事の内容や、仕事の大変さ・喜び等について話した後、子供達からの質問に答えました。
*子供達は、5人のうち3人のゲストティーチャーを順にまわり、話を聞きます。

キャリア教育でのゲストティーチャーも、今回で4年目となりました。また、当該児童達とは5年生の時に運動会のゲストティーチャーとして接していたため、心理的な距離感も近かったのではないかと思います。
後日、先生を通じて子供達の感想文をいただきましたが(43人分)、子供達が多様な大人や仕事に触れ、様々な考え方に接することが出来るこうした授業は、まさに「**地域と連携した教育**」だと思います。
区政に携わる一員として、そして地域の大人のひとりとして、今後とも機会があれば積極的に参加したいと思っています。



子供達からもらった感想文

東京ケアウィーク'21

3月19日(金)、東京ビッグサイト青海展示棟で開催された「東京ケアウィーク'21」に参加し、「**看取りケア**」に関するセミナーを聴講しました。

「人生の質」を考えていくうえで、人生の最終盤をどのように迎えるかも大切な課題です。
● 看取りケアにおいて大切なことは、「**前を向いて生きる**」を支えること
● 在宅での看取りケアにおいては、看護と介護の連携が非常に大切
といったことを改めて噛みしめ、杉並区における施策について、様々な視点で考えていきたいと思っています。



当日の入館証

次回の定例区議会(令和3年第2回定例会)は、5月31日(月)開会予定です。

区政や岩田いくまに対する質問・ご意見・ご要望をおきかせください。

FAX:03-3247-8660 もしくは E-Mail: ikuma@gakushikai.jp



杉並区議会議員(無所属) 岩田いくま 区政報告

第70号(令和3年春号)

発行: 岩田いくま 〒168-0082 杉並区久我山5-24-30-103
TEL/FAX: 03-3247-8660 E-Mail: ikuma@gakushikai.jp
HP: http://ikuma-iwata.net (←毎日更新しています!)

岩田いくま(生真)略歴: 昭和46年(1971年)生。都立西高、東京大学卒。
外資系コンサルティング会社勤務を経て、平成15年5月より杉並区議会議員。
令和元年5月より5期目。
趣味: バレーボール(大学時代は母校で部活動のコーチを行う)、読書。
家族: 妻、長男(18歳)、長女(15歳)、次男(13歳)。

- | | |
|-----------------------------|---|
| P.1 令和3年度当初予算について | P.3 議会での活動について
(予算特別委員会、新型コロナ対応補正予算) |
| P.2 議会での活動について
(予算特別委員会) | P.4 調査活動／地域での活動について |

「危機感が足りない」予算に反対 ～ 令和3年度杉並区予算の課題を考える ～

3月12日(金)、区議会において令和3年度杉並区一般会計予算が可決されました。私は、「**予算編成段階から、コロナ禍で歳入が大きく減少することが想定されていたにもかかわらず、ゼロベースでの事業の見直しが不十分であり、「財政面から見た区政の持続可能性」に対する危機感が不足している**」ことから、**一般会計予算には反対**しました。

財政をめぐる状況

<令和2年9月4日に示された「令和3年度予算編成に関する基本方針」>

・令和3年度は、 100億円を超える減収となることも覚悟	▶	今後想定される極めて厳しい財政状況を踏まえ、「 ゼロベースでの事業の精査・見直し 」が必要
・今後数ヶ年にわたり区財政の厳しい状況は継続すると考えられる		

しかしながら。。。

<実際の令和3年度予算案>

・ 過去最大の予算規模 (約1,990億円。前年度比約52億円増) * そのうち、既定事業は56億円の増	▶	当初予算の段階で、 財政調整基金残高(336億円)を、借金である区債残高(364億円)が上回る事態に
・ 事業の廃止・縮小等による見直しは約18億円にとどまる (P. 3参照)		

財政調整基金(貯金)の取崩額は、**72億5千万円(前年度比42億5千万円増)**。

リーマンショック以降の当初予算(平成21年度以降)で**過去最大の取崩額**



現在も続くコロナ禍において、新型コロナウイルス感染症への対応を予算面でもしっかり行うことは必要です(そうした考えから、これまでもコロナ対策の補正予算には全て賛成しました)。また、こうした状況下においては、一定程度財政が悪化してしまうことも、致し方ないことと考えております。しかしながら、こうした厳しい状況だからこそ、**現在の、そして未来の子供達に負の遺産を残すことのないよう、しっかりとこれまでの事業を廃止を含めて見直すことが必要**ではないでしょうか。財政面から見た「**区政の持続可能性に対する危機感**」が問われていると思います。

予算特別委員会(1)

3月3日～10日、予算特別委員会が開催されました。

今回は緊急事態宣言下での審査のため、分科会方式で実施。私は、自身が所属する文教分科会(9日)の他、同じ会派の議員が不在ないし欠席の区民生活分科会(4日)、都市環境分科会(8日)に委員外議員として出席し、質疑を行いました。

* 予算特別委員会の様子は、杉並区議会公式HPの委員会録画放映(下記)でご覧いただけます。
http://suginami.gijiroku.com/voices/g07_Video2_Search.asp

【質問でとりあげたテーマ】

区民生活	コミュニティふらっと
	事業の廃止・縮小等(P3参照)
	滞納者財産調査
都市環境	自転車駐車場
	事業の廃止・縮小等(P3参照)
	富士見ヶ丘駅周辺まちづくり等
文教	新教育ビジョン
	学校施設の有効活用
	1人1台タブレットPC
	特別支援教育
	学校改築・教育環境の整備
	事業の廃止・縮小等(P3参照)

【学校施設の有効活用】

令和2年度予算では、学校施設の有効活用に向け、「学校就業時間外の管理権限を、教育委員会から地域を所管する区長部局に移す方向で検討を進める」旨が示されておりました。私自身の想いとも合致する大変興味深い取組であり、現在の検討状況や今後の予定について確認しました。



現在は、モデル実施を行うための素案の作成を行っていること、また、今後は今秋を目途にモデル実施できるよう、具体化に向けて進めていきたい旨、答弁を得ました。
私自身の現在の活動(小学校放課後子ども教室等)や、これまでの利用経験(学校開放登録団体の一員として)も活かして、より良い仕組みとなるよう、今後も取組んでいきたいと思います。

【すぎなみアート応援事業】

コロナ禍における文化・芸術活動支援として、令和2年度にも実施した「すぎなみアート応援事業」が、令和3年度も予算化されました。

事業の周知にあたっては、広く『広報すぎなみ』や区公式HPに掲載するだけでなく、

- 連絡先のわかっている団体・個人への“プッシュ型”での事業の周知
- 郵送に限定せず、メール等の有効活用を求めました。



令和2年度の「活動の支援」に応募のあった600弱の団体・個人に対し、メールアドレス等を使って事業の周知を図っていく旨、答弁を得ました。

- 必要な人に必要な情報を個別に届ける
- 電子媒体を有効活用することを、今後も求めていきたいと思います。

【富士見ヶ丘駅周辺まちづくり等】

富士見ヶ丘駅周辺まちづくり方針の策定が、令和2年度から令和3年度にリスケジュールされました。質疑では、その理由や今後のスケジュール予定を確認しました。あわせて、拡張整備が予定されている富士見丘北公園について、具体的な公園整備内容については、近隣を含めた地域の意見とあわせ、子供達を含めた利用者の意見も聞いてほしい旨、求めました。



富士見ヶ丘駅周辺まちづくりについては、コロナ禍の影響で地域の方々と十分な意見交換が出来なかったためリスケジュールしたこと、今後は、**意見交換会やオープンハウスを実施し、12月を目途にまちづくり方針を策定予定**である旨、答弁を得ました。公園づくりに関しては、**幅広い方からの意見聴取に努めていきたい旨、答弁を得ました。**



現在の富士見丘北公園

予算特別委員会(2)

【事業の廃止・縮小等】

今回の予算審査にあたり、「令和3年度予算編成に関する基本方針(令和2年9月4日経営会議(*1)決定)」における「1. 全般的事項 (4) **ゼロベースでの事業の精査・見直し**」を受けて、「**見直し・廃止・整理統合・縮小した主な事業 及び その予算縮減額**」を部毎に資料として請求しました。

その予算縮減額の総計は、**約18億円**にとどまりました。

(*1)経営会議・・・区長が主宰する、区政の最高方針及び重要施策等を審議決定するとともに重要な事項の調整を行う会議。



予算委員会での質疑を通して、「経費節減・削減」に努めたことは、私にも伝わってきました。しかし、「ゼロベースでの事業の精査・見直し」が謳われた中で、**予算総額(約1,990億円)の1%にも満たない縮減では、危機感が十分とは言えません。**過去の財政状況を振り返っても、財政調整基金が19億円まで減少し(平成11年度)、区債残高が942億円にまで積み上がってしまった(平成12年度)のは、今から20年程前にすぎないことに、改めて想いを馳せるべきだと考えます。



新型コロナウイルス感染症対策として、マスク着用で質疑を行っております。

新型コロナウイルス感染症対応の補正予算

年明け以降、1月26日に開催された令和3年杉並区議会第1回臨時会を含め、新型コロナウイルス感染症対応を主とする補正予算が3回編成されました(第1回定例区議会閉会まで)。以下、その概略をご紹介します。

議決日	補正予算	総額	盛り込まれた事業の例
1月26日	一般会計 (令和2年度第11号)	3億9,252万8千円	中小企業支援 (信用保証料相当額の補助)
			医療従事者等へのワクチン接種
			病床確保のための転院支援
2月25日	一般会計 (令和2年度第13号)	4億8,060万9千円	感染症予防・発生時対策 (医療機関に対する休業期間経営継続支援等)
			コールセンター委託費(令和2年度分)
3月12日	一般会計 (令和3年度第1号)	43億9,563万7千円	16歳以上の区民へのワクチン接種
			コールセンター業務及び集団接種会場運営
			ワクチン接種会場整備・維持管理
	国民健康保険事業会計 (令和3年度第1号)	3億2,014万円	被保険者負担軽減



これらの補正予算は、ワクチン接種経費や集団接種会場整備経費を含め「**非常時の財政出動**」であり、区民の方々の生命・生活を守るため、**私も緊急性・必要性から全て賛成**しました。

